

◎パチスロ マクロスフロンティア3

「マクロスフロンティア」はSANKYOの看板コンテンツの一つ。その最新作、「パチスロ マクロスフロンティア3」は、「シナリオ管理型」と称するARTで、継続への期待感を刺激します。また、ART中は、選択した楽曲によって告知方法が異なるなど、コンテンツの世界観であるミュージックシーンを楽しみながら遊技できます。



©2009,2011 ビックウエスト/劇場版マクロスF製作委員会

A+ART (純増約1.7枚/G、1セット40G+α) 機。ARTは全12種類のシナリオを用意。シナリオは10セット構成で、1セット目10%、2セット目50%、6セット目100%など、継続率が異なる組み合わせになっている。

ARTの継続パターンは12種類

本機はA+ART (純増約1.7枚/G、1セット40G+α) 機で、ボーナス確率は全設定共通1/145 (約60枚獲得)、A+ART初当たり確率は1/115~1/98。コイン単価は約2.9円、ベースは50Gあたり約34G。出玉率は96.9~110.1%です。

天井はボーナスorチャンスゾーン(1CZ)間555Gで、ARTに当選します。

■通常時

A+ART機ですが、出玉は主にARTで増やしていくタイプ。通常時は、ボーナスやCZ「歌姫チャンス」(10G+α)からARTを目指します。

CZには、「ライブバトルチャンス」と「アルカトラズチャンス」の2種類があり、ART当選期待度は約35%。前者は液晶演出の背景の色で期待度を示唆。後者は与えられたミッションを成功させると、ARTが確定します。

■ボーナス

ボーナスは、通常時に当選する「オオサンBONUS」と「きゅんきゅんチャンス」、ART中に当選する「バルキリア攻撃」と「エピソード」の計4種類で、獲得枚数は約60枚。消化中は、ART抽選を行います。

「オオサンBONUS」は、演出パターンでART当選を示唆。「きゅんきゅんチャンス」は、「キューイン」と告知音が

鳴れば、ARTが確定。

「バルキリア攻撃」は、ボーナス中に決められた数の地球外生命体を倒すと、ARTストックが確定。「エピソード」は、当該ボーナスのウリであるエピソード演出が発生した時点で、ARTストックが確定します。

■ART

ARTに入ると、まずは「マクロスチャンス」(3G)に突入。その間の展開で、通常ART「ギャラクシーツアー」に進むのか、ART中のCZ「クライマックスバトル」に進むのか、上乗せ特化ゾーンをストックする「ゴージャスゲーム」に進むのかが決定します。

このうち、「ギャラクシーツアー」(37G+α)は“シナリオ管理型”と称されるARTで、全12種類のシナリオ(10セット構成、平均継続率約83%)を用意。シナリオによって、1セット目から10セット目までの各セットにおける継続率が違います。10セット継続すると、あらかじめシナリオを抽選します。

それに対して、「クライマックスバトル」(5G)に移行した場合、バトル演出を展開し、勝つと、上乗せ特化ゾーン「ヴァルキュリアRUSH」に突入。同RUSHは8G+αのSTタイプで、8G間にセット数を上乗せすれば、残りG数が再び8Gとなります。

「ゴージャスゲーム」は10G+αで、全役で「ヴァルキュリアRUSH」ストックを抽選。

そのほか、ARTに突入すると、好きな楽曲を選択でき、それぞれに対応した告知方法(一発告知、図柄ぞろい告知など)でプレーできます。

市場導入は5月8日で、販売台数は約1万台の予定とか。

マクロスといえば、一度は打ったことがあるユーザーが多いはず。その最新作となる本機は、少ない投資でも、何かしらのアクションが期待でき、プレーヤーを飽きさせません。

シナリオ管理型ARTはマンネリ化しやすいので、演出の作り込みができていくかどうかがとても重要なのですが、その点でも合格点の上がりです。

一ユーザーとしてみても、ARTのストックと内部的な継続率のバランスがどうなっているのかなど、打ち込んでみたい要素にあふれた一台です。

PROFILE

糸柳達成 (いとやなぎ たつなり)

株式会社アテイン 代表取締役

関東老舗ホールで店長として新規・リニューアル含めて6店舗を経験。その後経営コンサルタントとして独立して10年。業界歴は27年以上。現在は、経営コンサルタントのほかにも、TV出演、コラム執筆、セミナー、集客企画などマルチな活動を行う。TwitterなどのSNSやニコ生などのウェブを使った動画配信による情報発信も(詳しくはitoyanagi.net参照)。